

川内原発 再稼働への反応

2014年9月10日

1号機設置変更許可

2号機設置変更許可

2015年7月6日

1号機燃料装荷開始

2015年7月10日

1号機燃料装荷終了

2015年8月11日

1号機原子炉起動

2015年8月11日 日本経済団体連合会

参考資料①

九州電力川内原子力発電所の原子炉再起動に関する榊原会長コメント

安全性の確認と地元の理解が得られ、原子炉が起動し、再稼働への大きな一歩が踏み出されたことを**歓迎する**。

(中略)

原子力は、**エネルギー安全保障**、**経済性**の観点のみならず、**温暖化対策**としても極めて重要なエネルギーである。

他の原子力発電所についても、再稼働に向けて、関係者の努力が重ねられることを期待する。

2015年8月11日 日本商工会議所

参考資料②

九州電力・川内原子力発電所1号機の再稼働について（三村会頭コメント）

冷房等による電力需要の多い真夏の時期の需給安定化にも寄与することができ、**大いに歓迎したい**。

(中略)

世界で最も厳しい新規制基準に合格した原子力発電所の中で初めての再稼働であり、日本にとっては非常に結構なことだと思う。

今後は、川内における審査手続きで蓄積されたノウハウを電力会社など関係者で共有することで、適合性審査を申請した他の原子力発電所の審査を迅速に進め、安全が確認された原子力発電の順次速やかな運転再開により、わが国全体で**安価で安定的**なエネルギー供給を何としても実現していただきたい。

参考資料

①経団連HP 「九州電力川内原子力発電所の原子炉再起動に関する榊原会長コメント」

<http://www.keidanren.or.jp/speech/comment/2015/0811.html>

②日本商工会議所HP 「九州電力・川内原子力発電所1号機の再稼働について（三村会頭コメント）」

<http://www.jcci.or.jp/news/jcci-news/2015/0811122103.html>

③経済同友会HP 「九州電力川内原子力発電所の再稼働について」

<http://www.doyukai.or.jp/chairmansmsg/comment/2015/150811a.html>

④九州電力HP 社長会見（最新の物しか見られないため9月5日会見は閲覧不可）

http://www.kyuden.co.jp/press_movie.html

⑤電事連HP 電気事業連合会からのお知らせ「2015年9月10日 川内原子力発電所1号機の営業運転再開について」

http://www.fepec.or.jp/about_us/pr/oshirase/index.html

⑥旧 国家戦略室HP 「話そう”エネルギーと環境の未来”」

<http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/npu/policy09/sentakushi/index.html>

わが国のエネルギー需給構造の再構築に向けた一歩として**評価する**

(中略)

東日本大震災後の原発全基停止により、**エネルギー・コストの上昇、エネルギー自給率の低下、温室効果ガス排出量の増加**など、わが国の国民生活や経済活動に深刻な影響が生じている。

(中略)

高レベル放射性廃棄物の処理・処分や核燃料サイクル問題、さらには原発の所有・運営のあり方の検討などについて、政府が前面に出て早急に具体策をとりまとめ、**原発事業を持続可能なものにしていくことが不可欠である。**

2015年8月14日

1号機発電開始

2015年9月5日 九州電力 瓜生社長会見

参考資料④

私は恐らく、化石の燃料がなくなった後、人類が今と同じように繁栄していく為には、ある一定量のこういう原子力のエネルギーというものをですね、**安定的に安全に使う技術を保有しておくべきだろう、**と私は思っています。

新增設・リプレースについて、**真剣に論議が出来るような時代がくればいいな、**という思いがありますけど、現時点では私は難しいとは思っています。

2015年9月7日

2号機燃料装荷開始

2015年9月10日

1号機通常運転開始

2015年9月10日 電気事業連合会

参考資料⑤

川内原子力発電所1号機の営業運転再開について

先般決定したエネルギーミックスにおいて、原子力についても確保すべき一定の規模が明示されたが、資源の乏しい我が国においては、**3Eのバランスに優れる原子力発電の果たす役割は大きいものと考えている。**他のプラントについても、引き続き、新規制基準への適合性確認審査に真摯に対応し、一日も早い再稼働を目指してまいりたい。

3Eとは？

Energy security
安定供給
Economy
経済性
Environmental conservation
環境保全

2015年9月14日

2号機燃料装荷終了

少しだけ感想を

推進する側は、原発は純国産エネルギーであり、コストも安く、二酸化炭素も出さない、と言い続け、遂に再稼働までこぎつけました。九電社長の話では『まだ』新增設・リプレースについて話が出来ない状態ではないそうですが、各経済団体含め、その気は満々です。でも、日本人は「国民的議論」の結果、『2030年代原発ゼロ』を一度は選択しているんです。2012年9月14日にこの議論を踏まえて発表された『革新的エネルギー・環境戦略』（参考資料⑥）にこんな文章があります。『震災前、私たちは、エネルギー社会の在り方として、「原子力エネルギー」への依存度を高めることを柱として、安定供給の確保を目指し、地球温暖化問題の解決を模索してきた。しかし、今回の事故の深刻な現実を直視し、事故の教訓に深く学ぶことを通じて、政府は、これまで進めてきた国家のエネルギー戦略を、白紙から見直すべきであると確信するに至った。』安倍政権はこれを「具体的な根拠を伴っていない」として白紙撤回（2013年1月30日衆院本会議）。そして今や『2030年に原発依存度2割』。。。どこまで国民無視してんだか。結局、政治を変えないとなあんにも変わりません。次の選挙はホント大事です。（官僚は選べないですからね）